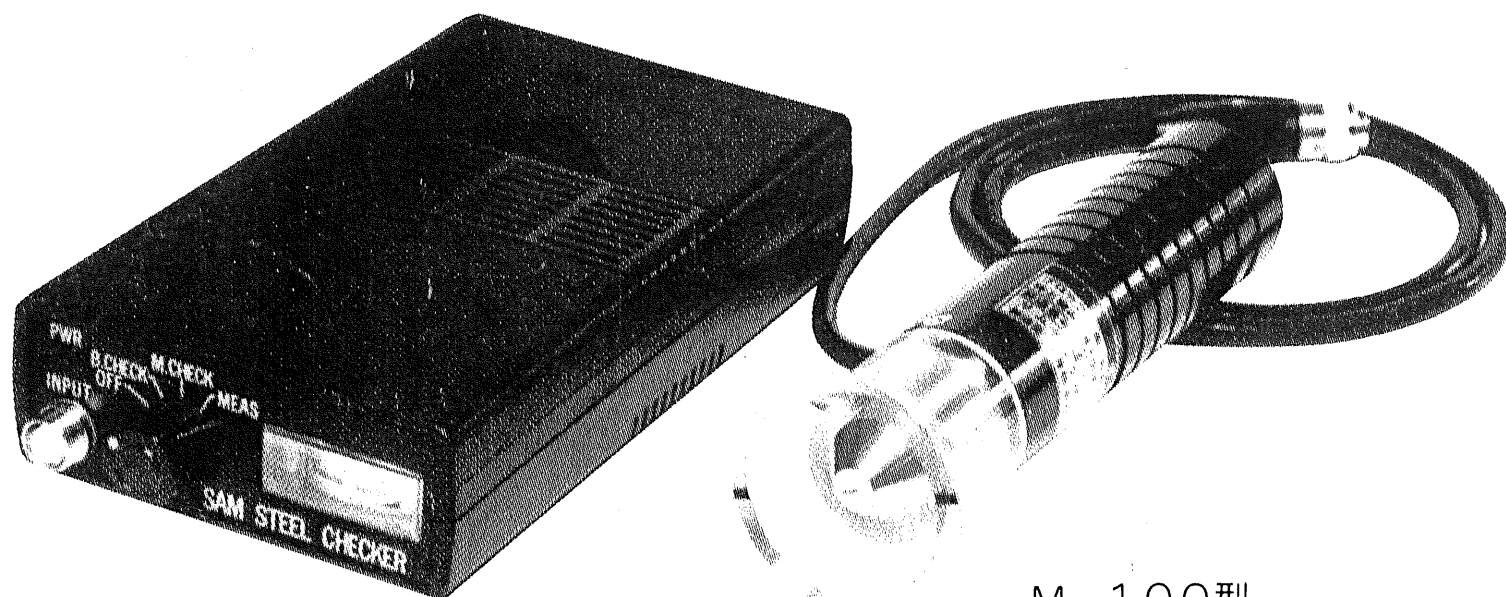


SAM STEEL CHECKER

サム スチール チェッカー 《取扱説明書》



M-100型



TACHIBANA ELETECH

株式会社 立花エレテック

サム スチール チェッカー M-100型

《取扱説明書》

このたびはサム スチール チェッカーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
お使いになる前にこの説明書をよく読んで正しくお使いください。

目 次

1	サム スチール チェッカー M-100型 仕様	2
2	M-100型 構成品	3
3	本体各部の名称	3
4	接続図	4
5	測定準備	5
6	測定方法	5

7	測定に当たっての注意	6
8	充電器C-100型 仕様	7
9	充電器各部の名称	7
10	充電のしかた	8
11	使用上の注意	9
12	故障と対策	10・11

1 M-100型仕様

- 測定内容 鋼材JIS規格のSS400とSM490の二種類を判別することができます。
- 外形寸法 約100(幅)×170(奥行)×38(高さ)mm
- 重量 約1 kg(付属品は含みません)
- 定格消費電力 約2VA
- 連続使用時間 60分以内(フル充電状態のNi-cd バッテリーで、5秒測定20秒休止の条件で使用した場合。)
- 充電時間 約15時間 ※連続して48時間以上充電しないでください。
- 使用周囲温度 -10℃～+50℃(測定時)
0℃～+40℃(充電時)
- 周囲湿度 80%RH以下

2 M-100型構成品

- 本体 M-100型 1台
- プローブ P-100型 1本
- Ni-cdバッテリー B-100型 1個(本体内蔵)

別売付属品

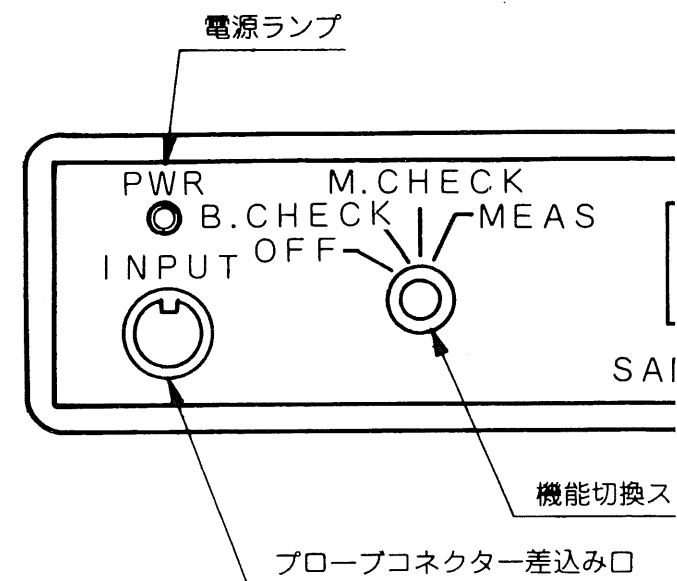
交換用Ni-cdバッテリー B-100型

付属品

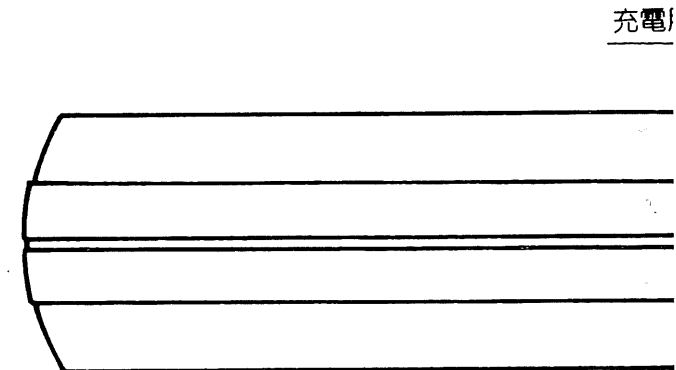
- キャリングケース 1個
- 充電器 C-100型 1台
- 標準サンプル片 SS41、SM50 各1枚
- 棒ヤスリ 丸、半丸、平 各1本
- 紙ヤスリ 粒度80、180 各4枚

3 本体各部名称

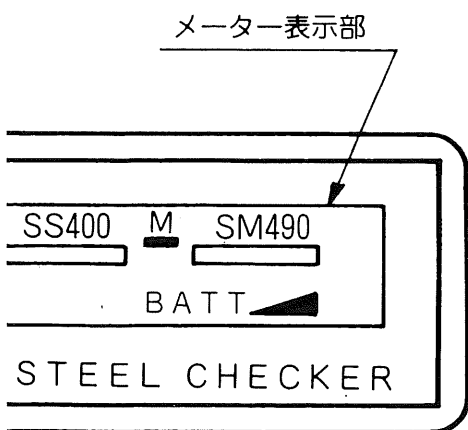
前面



背面

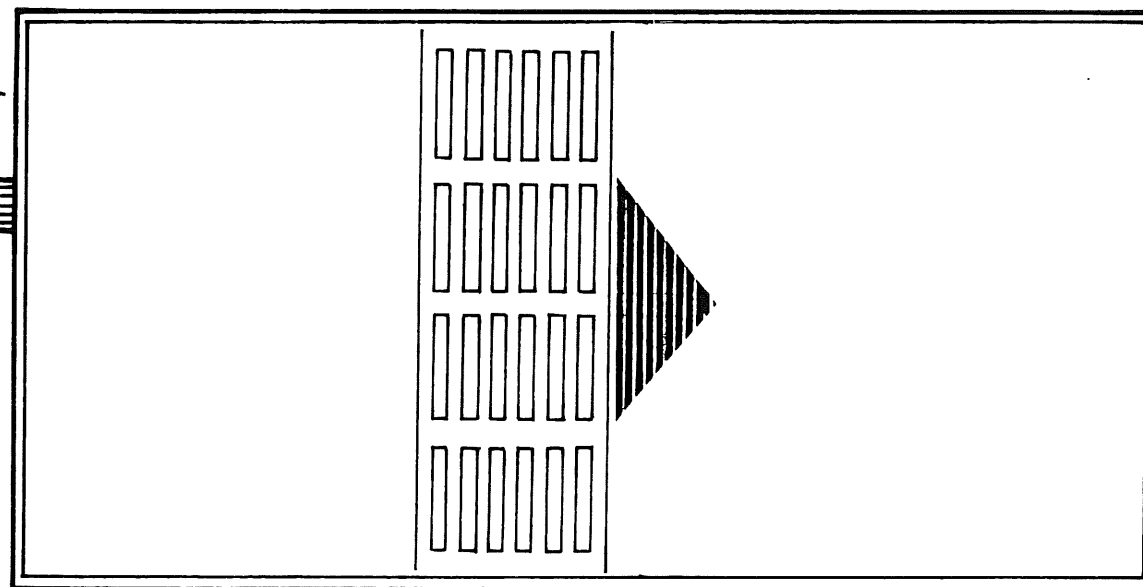


上 面



プローブ差込み口

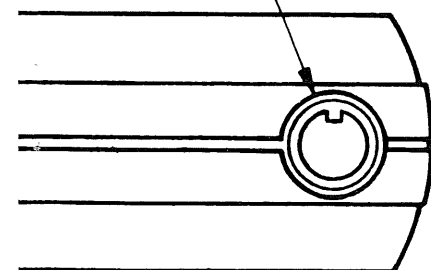
前
面



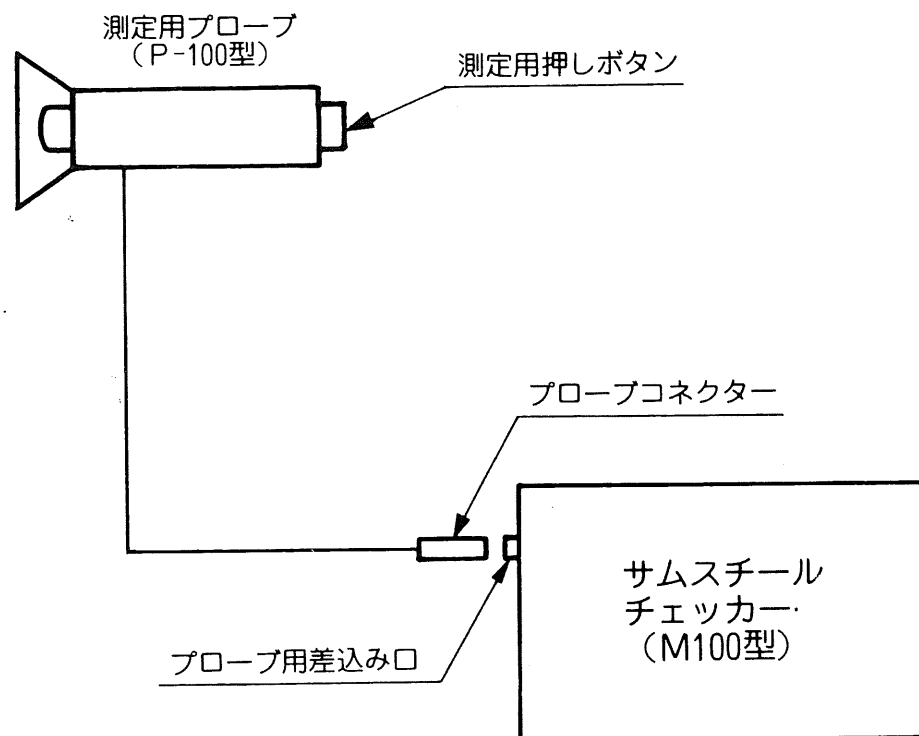
背
面

ツチ

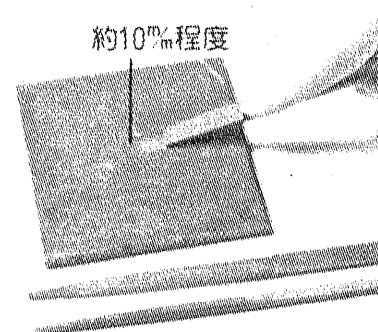
コネクター差込み口



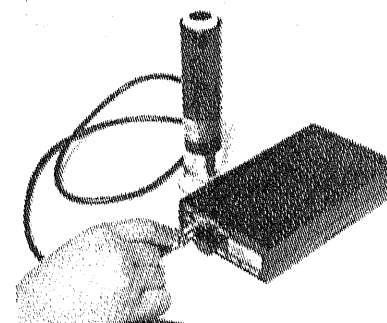
4 接続図



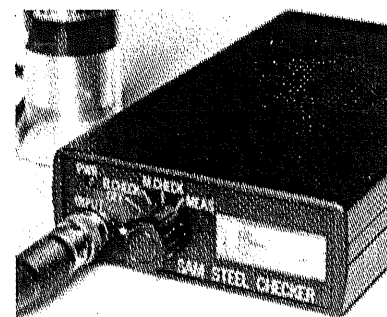
5 測定準備



(1)測定対象の鋼材表面を約1 cm²程度ヤスリでよく研磨してください。

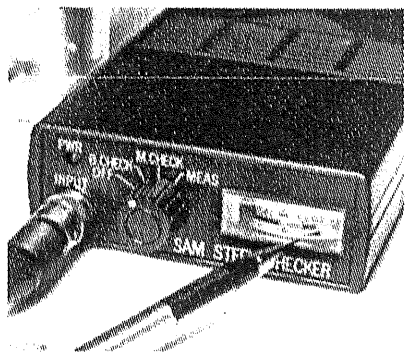


(2)本体とプローブを接続してください。



(3)本体前面の機能切換スイッチを左に回し、OFFにしてください。

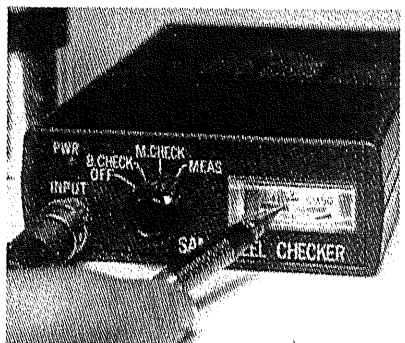
※以上で測定が開始できる状態になります。もし、上記のチェックができ



(4)“B、CHECK”(バッテリーチェック)の位置で止めてください。その時メーターの針がBATT▲の範囲内を指していることを確認してください。完全に充電されている場合には、針は右に止まります。



(5)次に“M、CHECK”(機能チェック)の位置で止めてください。その時メーターの針がMの範囲を指していることを確認してください。



(6)続いて“MEAS”(測定)の位置で止めてください。メーターの針は自動的に左端にもどります。

ない場合は、故障と判断を繰り返してください。

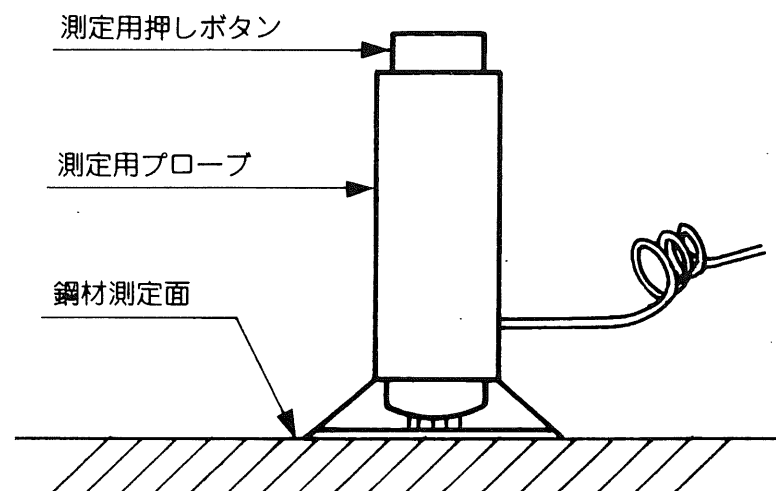
6 測定方法

(1)プローブを鋼材測定面に直角になるように当て、上部押しボタンを止まるまで静かに押してください。

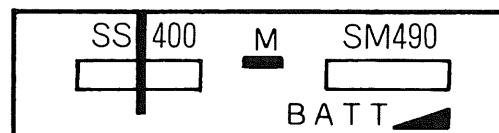
(2)メーターの針がSS400の範囲に止まればSS400、SM490の範囲に止まればSM490とおのその鋼材の材質規格を示します。

もし中間域に止まった場合には、SS400と見越して取扱うか又は、強度試験、成分分析等で確認を行ってください。

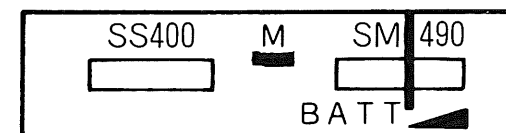
※測定は測定位置をかえて数回はかってみてください。



SS400の場合



SM490の場合



7 測定に当たっての注意

- (1)プローブ先端部は非常に精密ですので、接触時その他取扱いには充分ご注意ください。
- (2)プローブのコード取外し、引抜の際は先端コネクタを持って行ってください。(コードを引張らないようにしてください。)
- (3)測定時の鋼材温度で $-5^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ 程度は問題ありませんが、極寒極暑の場合には、標準サンプルと比較して判別してください。
- (4)鋼材表面は水濡れを避け、乾燥状態で測定してください。
- (5)その他⑪、⑫等よく読んで正しくお使いください。

※詳しくは別紙添付資料がありますので、ご購入の方はお申し付けください。

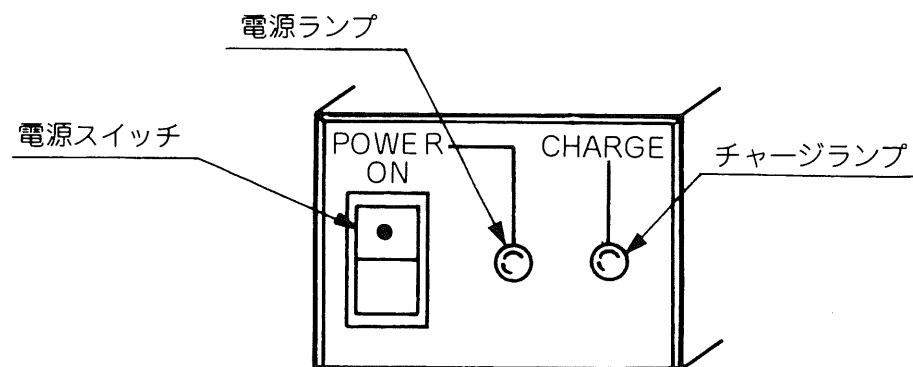
8 充電器 C-100 型

- 使用周囲温度 $0^{\circ}\text{C}\sim +40^{\circ}\text{C}$ (結露なきこと)
- 保存周囲温度 $-10^{\circ}\text{C}\sim +50^{\circ}\text{C}$
- 周囲湿度 80%RH以下
- 重量 1 kg以下
- 消費電力 4 VA以下
- 充電時間 約15時間
- 充電電流 定電流……50mA(+0、-1)
定電流……14.5mA($\pm 20\%$)
- 入力電圧 AC100V($\pm 10\%$)、50/60Hz
- 外形寸法 約50(幅) $\times$ 175(奥行) $\times$ 40(mm)
但し、突起部を除く。
- コード 入力用……2.5m、出力用……
予備ヒューズ……3個(1A)

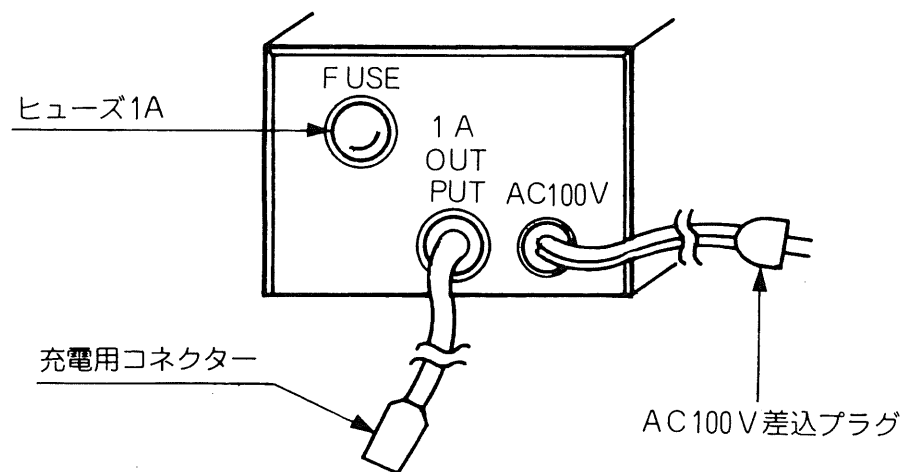
※本器は、M-100型サム スチール チェッカーに
専用充電器です。

⑨ 充電器各部の名称

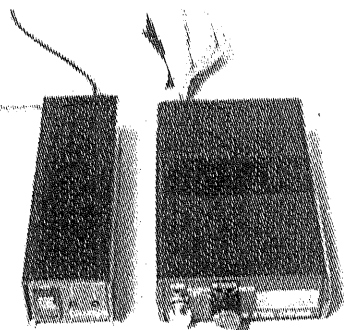
前 面



背 面



⑩ 充電のしかた



(1)サム スチール チェッカーの機能切換スイッチをOFFにしてください。

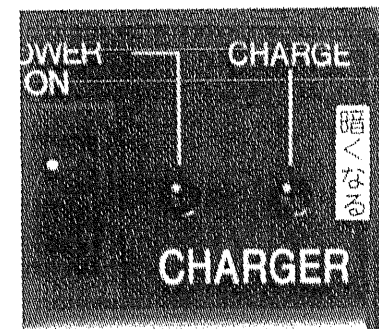
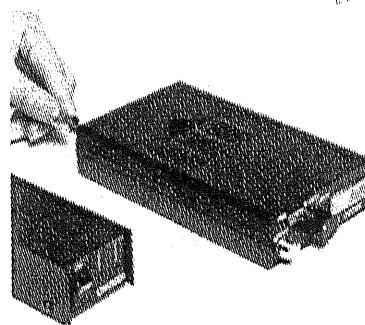
(2)充電器の入力用コードをAC100V用コンセントに差し込んでください。

(3)充電用コネクタをサム スチール チェッカー後部のコネクタ差込み口へ差し込んでください。

(4)充電器前面のPOWERスイッチをONにします。

※POWERランプが点灯します。

(5)CHARGEランプが明るく点灯し、充電中であることを示しますが、
①Ni-cdバッテリーが古くなっているか ②フル充電されている場合は、
CHARGEランプは明るく点灯しません。①の場合はNi-cdバッテリーを交換して下さい。②の場合には充電の必要はありません。



(6)充電が完了する
せます。

(7)充電器前面のF

(8)充電用コネクタをはずします。

※コネクタ部をつまんで引張ってください
らないでください。

(9)入力用コンセントをはずしてください。

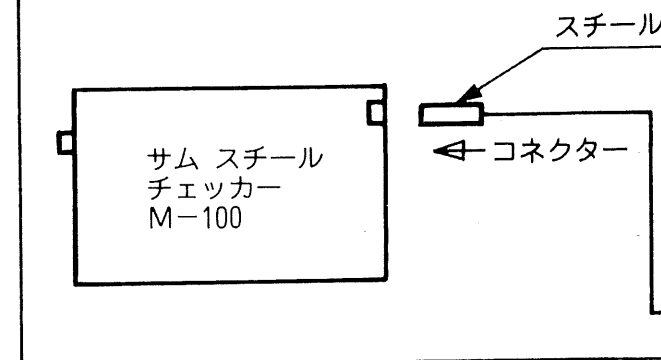
以上で充電は完了です。

注1)本充電器を他のバッテリー電池充電には、使用しないでください。

2)連続して48時間以上充電しないでください。

3)充電はなるべく20℃前後の環境で行ってください。低温や高温の所で充電すると
チャージランプが暗くならないことがあります。

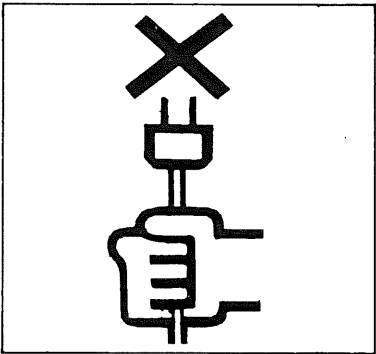
接続図



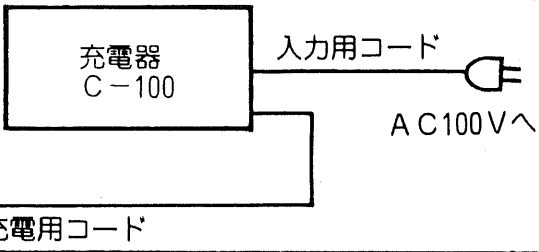
と、CHARGEランプが暗くなってその旨を知ら

OWERスイッチをOFFにします。

コードは絶対に引張



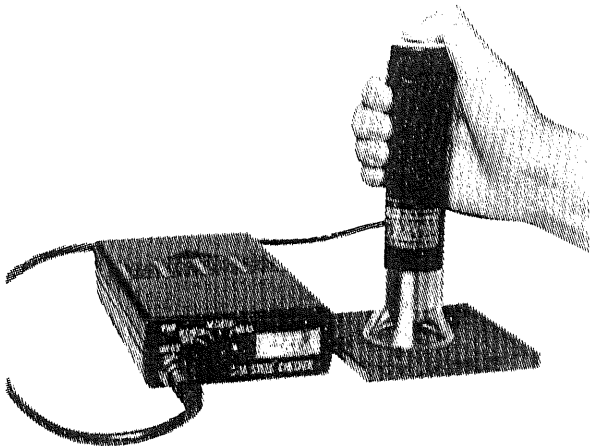
チェッカーの後部コネクター差込み口へ



1 使用上の注意

- (1)サム スチール チェッカー及び充電器とも、長時間直射日光に当てたり、暖房器の近くに置かないでください。
- (2)サム スチール チェッカーや充電器内部に、誤って水が入りますと故障の原因となることがあります。
- (3)充電する時の周囲温度が35℃以上の環境ですと充電が完了しないことがあります。又Ni-cdバッテリーを劣化させます。
- (4)充電時間はNi-cdバッテリーの消耗状態や周囲温度で変化します。
- (5)充電と測定は同時に出来ません。
- (6)殺虫剤やベンジン等化学ぞうきんで清掃すると、塗装がはがれたり変色することがあります。
- (7)仕様は予告なく変更することがあります。

操作の仕方



12 故障と対策

(1) 測定の時

症 状	対 策
機能切換スイッチを`B.CHECK`にしても電源ランプが点灯しない。	● Ni-cd バッテリーが接続されているか調べてください。 ● Ni-cd バッテリーを充電してください。
機能切換スイッチを回しても、メーターの針が振れない。	
機能切換スイッチを`B.CHECK`にしてもメーターがBATT▲を示さない。	
機能切換スイッチを`M.CHECK`にしてもMを示さない。	● 1分程度そのまま待ってください。 ● Ni-cd バッテリーが接続されているか確認してください。 ● Ni-cd バッテリーが充電されているか確認してください。 ● B・CHECKにしても変化しない時はご購入先へ連絡してください。
測定中又は、充電中に音ができる。	● 電源をすぐ切って、ご購入先へ連絡してください。
本器を振ると音がする。	● Ni-cd バッテリーの取付及びケース蓋の取付を確認してください。

(2) 充電の時

症 状
`POWER`スイッチ、をONの位置にしてPOWERランプが点灯しない。
充電状態にしてもCHARGEランプが明るく点灯しない。
充電してもすぐ消耗する。

	対 策
も	● ACプラグが抜けていませんか。 ● 停電していませんか。 ● ヒューズが切れていませんか。 ● ヒューズを交換しても又、すぐに切れる時はご購入先へ連絡ください。
る	● 充電用コネクタがはずれていませんか。 ● 充電済のNi-cd バッテリーを充電していませんか。 ● サム スチール チェッカーにNi-cd バッテリーが取付られていますか。 ● 上記以外の場合はご購入先に連絡してください。
	● Ni-cdバッテリーは、300回以上の充放電が可能です。古くなって寿命がくると、充電してもすぐ消耗したり、充電が完了しなくなります。このような場合は、ご購入先に連絡して、新しいNi-cd バッテリー(有償)と取りかえてください。

症 状	対 策
長時間充電しても、充電が完了しない。 (CHARGE ランプが暗くならず、明るく点灯したままの状態)	● サム スチール チェッカーのスイッチはOFFの位置になっていますか。 ● Ni-cd バッテリーの寿命がきていませんか。 ● 指定以外のバッテリーを充電していませんか。 ● 上記以外の場合はご購入先へ連絡してください。

アフターサービスについては、お買い上げのご購入先もしくは、次頁の連絡先にご相談ください。

御連絡先

故障の場合や不明な点がございましたら、下記にご連絡ください。



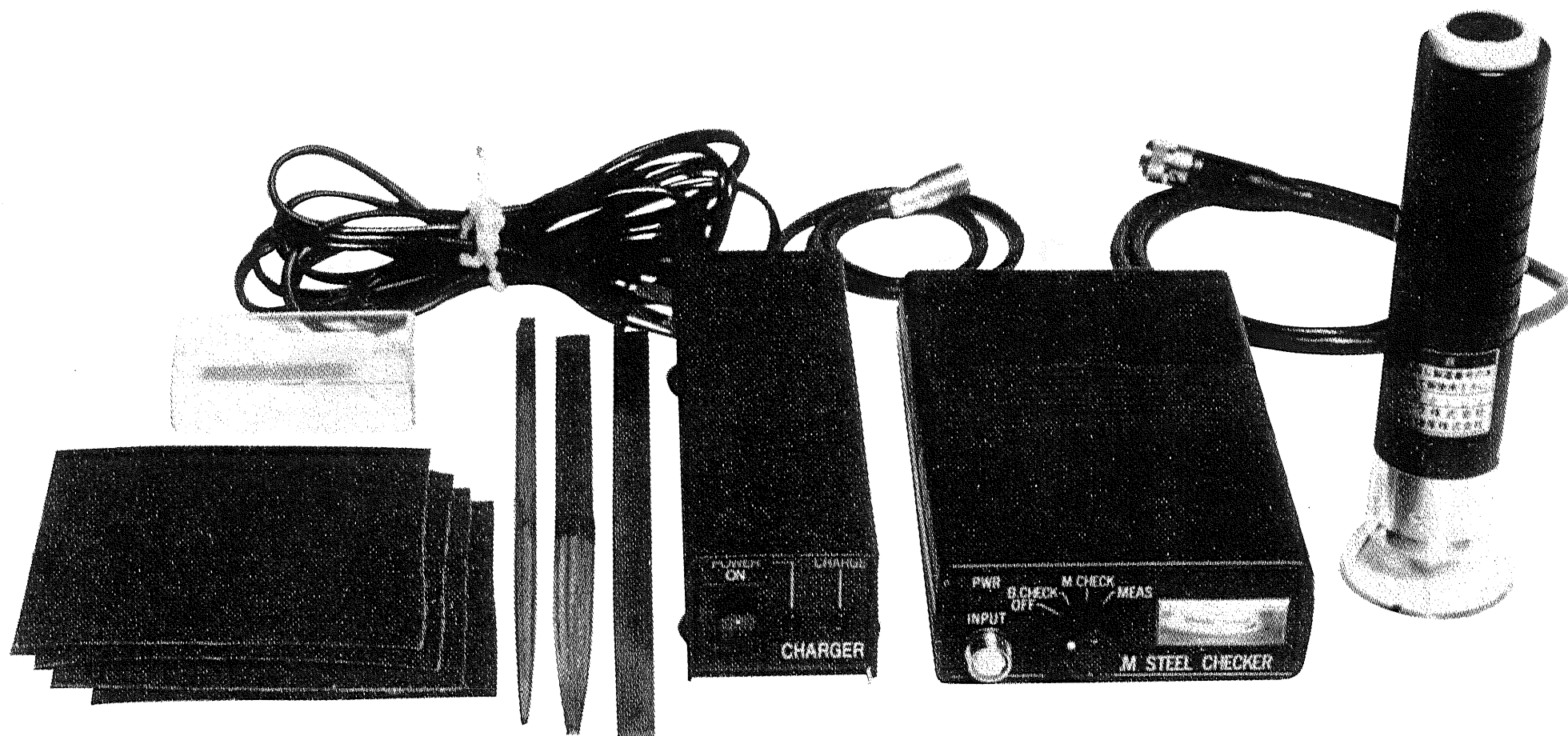
株式会社 立花エレテック

情報映像部

本社 / 大阪市西区西本町1-13-25

TEL: 06-6539-2759~60

本体及び標準附属品





株式会社 立花エレテック

情報映像部

本社 / 大阪市西区西本町1-13-25

TEL: 06-6539-2759~60